

H25年 3月4日

血

液

内

科

だ

よ

い

輸血療法の実際

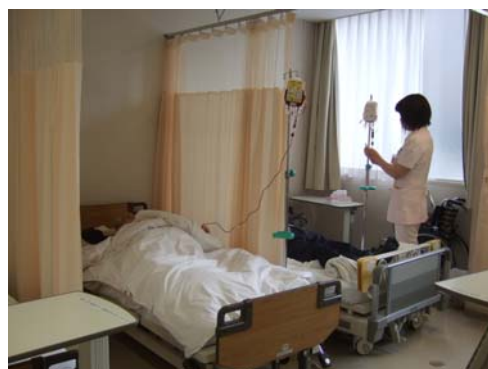
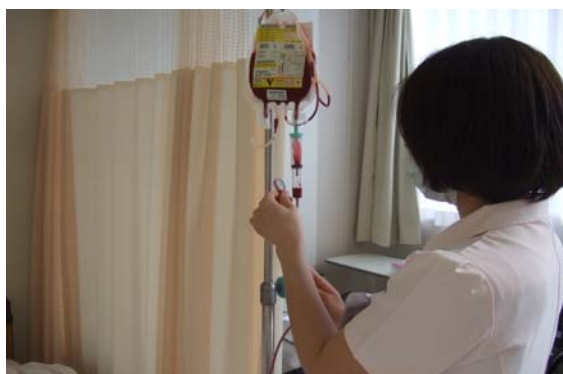
～内科外来～

血液内科の外来では、貧血による症状を軽減させたり、血小板低下による出血を防ぐため、通院での輸血療法を行っています。

外来では、輸血用として使用する処置室があり、感染機会を減らすため、一般の外来患者さんとは同室にしないよう配慮しています。

輸血開始後、蕁麻疹や発熱・悪寒、呼吸困難感、血圧低下、穿刺部の熱感などの輸血後アレルギー反応が現れることがあります。こうした副作用をできるだけ抑えるため、あらかじめ、抗アレルギー薬の投与を行うなど、病棟と同様の観察を行い、より安心して輸血を受けられるよう対応しています。

**\*\* 実際の輸血風景です \*\***



**\*\* 血液内科担当スタッフに気軽に声をかけください \*\***